

Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2928号 2021年10月19日(晴れ) 第15回例会 会員数113名

ハイブリッド例会



点 鐘 倉 井 章 会長

司 会 副SAA 山崎会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇持ち帰り弁当



ビジター紹介

加藤会長エレクト

◇産経新聞 宇都宮支局長 鈴木正行様

◇米山記念奨学生 テット チャンソティア君

(2021-22年度宇都宮東ローターアクト幹事)



会長挨拶

倉 井 章 会長

会員の皆様、こんにちは。新型コロナウイルス感染者は、栃木において2日連続で1人となっており、東京でも今年最少の29人と減少しています。政府は、「ワクチン・検査パッケージ」の有効性を検証する実証実験を10月8日から開始し、Go Toトラベルキャンペーンの実施を検討し、ウイズコロナの中の経済回復を図るようです。経済を回復しつつ感染拡大を抑えられるかが問題かと思えます。

12日の理事会で、会場レイアウトを前回の例会同様円卓にし、食事につきましては、例会終了後に黙食若しくはお持帰りとするかと致しました。会話の際のマスク着用のご協力をお願いします。

シェカール・メータRI会長は、「行動しよう、ポリオを永遠になくすために」と言われております。10月24日は世界ポリオデーです。世界ポリオデーは、初めてポリオ・ワクチンを開発したチームを率いた米国の医学者ジョナス・ソークの誕生を記念して、ポリオのない世界を目指す国際ロータリーによって設立されました。ポリオ(急性灰

白髄炎)とは、ウイルス感染によって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体まひを引き起こし、ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く、「小児まひ」とも呼ばれています。ポリオはワクチンで予防可能ですが、治療法はありません。ほかの多くの疾病とは異なり、ポリオは根絶が可能です。30年以上にわたり、ロータリーとそのパートナー組織は、ポリオを世界から根絶する取り組みを行っています。ロータリーのポリオプラスプログラムは、子どもを対象とした大々的な予防接種を通じて、ポリオの根絶をめざす世界で初めての取り組みでした。

1988年に、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)を開始した当時は、125カ国で毎年35万件のポリオの症例がありました。現在、ポリオの発生率は99.9%減少しており、野生型ポリオウイルスの発症が報告されているのは、アフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。ロータリーとパートナー団体によるポリオ根絶活動のおかげで、身体まひとならずにすんだ人の数は推定約1940万人、命を落とすことのなかった人の数は推定150万人以上に上ります。ポリオ根絶活動のために築かれたインフラは、ほかの疾病の治療と予防にも利用されており、公衆衛生分野にも長期的なインパクトをもたらしています。

ロータリーとパートナー組織は、ポリオ根絶の実現に向けて大きく進展してきましたが、症例を完全になくすには、さらなる前進と粘り強さが必要とされます。アフガニスタンとパキスタンでは、政情不安、人口移動、地理的要因、場合によってはワクチンの拒絶や誤解といった課題に直面しています。十分なりソース、政府の全面的支援、遠隔地での活動を可能とするテクノロジーがあれば、これらの地域からもポリオを根絶できる

と言われております。100万人以上のロータリー会員が、ボランティアや募金を通じてポリオ根絶活動を支援しているほか、ポリオ感染リスクが高い国々に多くの会員が赴き、予防接種活動に参加しています。石田ガバナーは、ポリオ根絶活動の推進を図るため、年間30ドルの地区目標を掲げております。当クラブでは先日、前期分として会員一人15ドルのポリオ寄付を行いました。後期に後15ドルで、年間30ドルの寄付になりますが、皆様からの更なるポリオ寄付をお願いしたいと思います。ご報告ですが、高野会員からポリオ寄付として先週2,000ドル、本日3,000ドルの寄付をいただいております。また、先週の例会でお話した米山の寄付ですが、宮下会員から30万円の寄付を、そして財団年次寄付として1,000ドルいただいております。

本日の卓話は、米山記念奨学生のテット チャンソティア君にお願いしております。ソティア君は、宇都宮東ローターアクトクラブの会員で、今年度は幹事をやられております。

また、11月2日の例会は、第4回クラブ協議会になっております。10月24日開催の地区大会報告とクラブ細則改正(案)の審議・採決を行いたいと思います。クラブ細則改正(案)の審議・採決ですので、11月2日の例会は、オンラインは行なわず、会場のみのお会とさせていただきますことをご了解いただきたいと思います。

◇奨学金の授与

米山記念奨学生 テット チャンソティア君

✍️ 幹事報告

渡邊和裕幹事

◇10月24日(日)の地区大会について

昨年に引き続きYouTubeにて生中継。後ほど事務局からYouTubeアドレスを配信します。ご覧いただくことにより出席扱いとなります。

◇10月12日の理事会の内容について報告

- ・年忘れ例会をなるべく夜間で開催ということで検討、調整中。
- ・細則改正(案)が承認される。11月第1例会での協議をお願いします。
- ・次年度地区委員の推薦者が決定。後ほどご連絡いたします。

◇ガバナー事務所よりお知らせ

10月22日の日本経済新聞に、日本のロータリーが100周年を迎えたことを契機に、ロータリーの活動をPRし、会員増強に繋げることを目的として、一面広告掲載をするとのこと。

◇10月26日は地区大会の振替休会



委員会報告

◇ローターアクト委員会

薄井委員長

宇都宮東ローターアクトクラブ主催のハロウィンウォークラリーが10月31日(日)に企画されています。皆様、ご賛同の上、多くの方のご参加をよろしくお願い致します。

「3分間スピーチ」

薄井 晃会員

(ローターアクト委員長)



皆さん、こんにちは。入会してまもなく4年目になります。私は、1963年、現在の大田原市、旧黒羽町に生まれ育ちました。2002年に(株)英和技研を設立し、ちょうどこの10月で20年目を迎えました。20年目を迎えたから、というわけではありませんが、10月で会社の体制が変わりまして、新社長に社長を譲りました。私どもは左官工事会社です。建築物であっても左官は物作りです。私は「現場」で「現物」を「現実」に、という三現主義を原理原則に実践するために、取締役統括という肩書きで10月より活動しています。

左官は昔からある職業なのですが、なかなか新工法というものは考えられませんでした。しかし、ある現場で、鉄筋コンクリートの屋根を作るのに、非常に難しく、工期もお金もかかるという状況で、なんとか良い工法で出来ないか、ということで考案したものが、今年の7月7日に特許を取得しました。これは専門的なものなので、3分間スピーチという時間の中では説明できませんので、私どものホームページをご覧いただければと思います。本日はありがとうございました。

※次回スピーチは太城敏之パストガバナー

米山記念奨学生 「近況報告」

米山記念奨学生 テット チャンソティア君



皆さん、こんにちは。最近、日本の運転免許証を取るため、山形県まで行ってきました。運転は

いいのですが、学科が難しく、今のところまだ仮免です。月末にまた山形に行く予定です。本日は、大学での学習状況、卒業後の仕事、ローターアクトクラブの活動についてお話いたします。

1. 大学での学習状況

宇都宮大学に入学してからの2年間は対面授業がなく、ほとんどオンラインでのZoomやオンデマンドの講義でした。アプリを知らなかったため、ZoomやC-learningの使い方や授業に慣れるまで大変でした。オンデマンドの講義だと、パソコンで、ただ一人でC-learning上の書類を読んでレポートを作成して提出するだけです。質問や意見がある時はC-learning上のコメント欄に書きますが、すぐに返事がこないこともあり少し困りました。

私の研究テーマは、カンボジア人日本語学習者の日本語の接続詞使用状況の考察です。特に「でも」や「しかし」などの逆説接続詞についてです。昨年度は、大学院生はアンケートやインタビュー調査が出来ませんでした。今年度は、大学の許可を得れば行なって良いことになりました。許可を得て、今年の夏休み中に対象者にアンケート調査を行ないました。母国に一時帰国してアンケート調査を行なう予定でしたが、コロナ禍のため、Zoom上でプノンペン大学の日本語学科の後輩を中心に、交流会という形で調査を行ないました。これから、アンケート調査を分析して修論全体の作成を徐々に開始します。

2. 卒業後の仕事について

平野様の会社の(株)ピーシーレールウェイコン

サルタントに内定をいただきました。この会社で元米山記念奨学会奨学生とともに、日本とカンボジアの懸け橋として頑張っていきたいと思います。

3. ローターアクトクラブの活動

今年度、幹事となりました。また、一つのプロジェクトを担当させていただいています。このプロジェクトは、カンボジア幼児に向けた文房具支援活動です。カンボジアにあるNERCというNGOの子ども達に文房具を支援します。ただ、文房具を支援するだけでなく、それを使って自由に絵を描いてもらい、その絵をZoom上で見せてもらって賞を贈る、という写生大会の計画があります。宇都宮東ロータリークラブ様に活動の支援金のご協力をいただきました。子ども達の代表として感謝いたします。

※ソティア君の近況報告の前に、金田米山記念奨学会委員長より、米山特別寄付のお願いがありました。

◇倉井会長より

- ・産経新聞宇都宮支局長の鈴木様に入会をお誘いしたところ、本日見学にお見えになりました。鈴木様、我々の仲間になっていただくよう、ご検討よろしくお願ひ致します。
- ・10月11日にパスト会長の坂田会員がご逝去されました。ここで、ご冥福をお祈りいたしまして、黙祷させていただきますと思います。

- 黙 祷 -